

2020年度 事業計画書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 ホロコースト教育資料センター

【1】事業実施の方針

一人ひとりの命と人権を尊ぶ心を育み、寛容な社会を築くため、ホロコースト史を教材とした教育活動に取り組み、これまで日本全国約1,200の学校での訪問授業やNPO自主事業を通して、子どもから大人まで20万人以上に学ぶ機会を提供することができました。

しかし、グローバル化にともない、多様な文化や人との関わりが増えていく一方で、排他主義や狭義の愛国主義の考え方が広がる傾向があり、街角のヘイトスピーチやネット上のホロコースト否定論は日本国内で存在しています。また、第二次世界大戦時のアジアでの日本の加害の歴史に関する歴史修正主義や否定論が、ヘイトスピーチや差別、偏見を助長する側面があることにも大きな危機感があります。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う差別や偏見の広がりも見られます。人権を尊重する、寛容な心を育む教育に取り組んでいくことがより一層急務であると考えています。

戦後75周年の節目である今年も、新型コロナウイルス感染症防止のためのオンライン事業も取り入れながら、下記の二つの基本方針を、中長期目標(2019年～2023年)として定め、学びの場づくりに取り組んでいきます。

(1) 差別や偏見を自分事として考える

すべての人が平和と豊かさを享受できるようにするため、2015年に国連は、持続可能な開発目標(SDGs)を採択しました。「世界を変えるための17の目標」のうち、目標4「質の高い教育をみんなに」に含まれる人権教育やグローバル・シティズンシップ教育を推進するため、ユネスコはホロコーストを教材とした教育活動を支援しています。Kokoroはこの国連の精神に基づいて、子どもたちの寛容な心を育み、共生の時代を担う地球市民を育成することを目指しています。この理解をより一層広め、歴史の教訓を自分事として捉えられるように、対話やワークショップなど参加型の学びの時間を作っていきます。

(2) 世界と歴史への広い視野を育む

ホロコースト史を教材として扱うことは、決して日本の第二次世界大戦時のアジアでの加害から目を背けさせるものではなく、歴史への広い視野を育むことを目指して取り組んでいきます。Kokoro理事の故黒川万千代氏が自らの広島での被爆体験やアジアでの戦争の歴史を語り続けた精神を今後も引き継ぎながら、歴史へのたくましい想像力を子どもたちが育むことができるように、ユダヤ難民のヨーロッパからアジアへの逃避行や、ナチ・ドイツ下の日本人の姿、現代ドイツの「記憶の文化」などをテーマにした教材制作を企画します。

【2】事業計画

1. 教材の制作及び提供事業

1-1) 展示パネル

引き続き希望の学校や団体にはデータで提供する。

1-2) ココロの本箱

昨年度に引き続き訪問授業の依頼を受けた中学校、高校に貸出を実施する。

1-3) ビデオ教材「ヤーノシュとスティーブン兄弟の物語」

昨年度、ホロコースト生還者ヤーノシュ・ツェグレディ氏の体験を伝えるビデオ教材を制作し、ホームページで公開した。学校などで活用してもらえるようにワークシートを作成する。

2. 書籍・資料などの収集及び提供事業

2-1) Kokoro おすすめ図書を紹介

ブログやSNSを活用し、新着図書やおすすめ図書を紹介する。

3. 講演会、セミナー等の開催事業

3-1) 訪問授業

新型コロナウイルス感染の状況を考慮しながら、学校や自治体、地域グループなどを対象に実施していく。

3-2) 主催事業

3-2-1 オンラインワークショップ

日程	テーマ	対象	定員	参加者数
4/25(土)	読書会&ワークショップ『アンネの日記』	一般	15	17
4/29(水・祝)	ホロコースト史を教材にしたアクティブラーニング	教育関係者	15	16
4/29(水・祝)	ホロコースト史を教材にしたアクティブラーニング	教育関係者	15	16
5/3(日)	メモリーウォーク～ベルリン編	一般	20	26
5/5(火)	タイムトラベル! アンネ・フランク	小学生	10	7
5/16(土)	ヨーロッパスタディツアー説明会	大学生	20	
5/24(日)	アウシュヴィッツからの問い	大学生	20	
5/30(土)	アウシュヴィッツからの問い	教育関係者	20	
5/31(日)	アウシュヴィッツからの問い	教育関係者	20	
6/5(金)	メモリーウォーク Part2～ミュージアム編	一般	20	
6/6(土)	アウシュヴィッツからの問い	教育関係者	20	
6/12(金)	アンネ・フランクの足跡をたどる～アムステルダム編	一般	20	
6/19(金)	アウシュヴィッツからの問い	教育関係者	20	
6/26(金)	メモリーウォーク～ベルリン編	一般	20	
6/27(土)	世界遺産リンゲルブルム・アーカイブ	一般	20	
6/28(日)	アウシュヴィッツからの問い	教育関係者	20	

※今後のテーマ

メモリーウォーク～ワルシャワ
メモリーウォーク～クラクフ
メモリーウォーク～プラハ
メモリーウォーク～白バラ
メモリーウォーク～コルチャック先生
ホロコーストと難民たち～ドラ・グリーンバーグ(杉原千畝)
ホロコーストと難民たち～キンダー・トランスポート
ホロコーストと難民たち～セントルイス号
ハンナのかばん
ハンナのかばん 2～ジョージの物語
レスキューアー～ラウル・ワレンバーグ
レスキューアー～タデウシュ・パンキエヴィッチ
読書会～ビクトール・フランクル『夜と霧』
読書会～プリーモ・レーヴィ『アウシュヴィッツは終わらない』、他

3-2-2. スタディツアー

新型コロナウイルス感染の状況を見ながら実施の可否を判断する。

- ・ 8月 Kokoro 主催アウシュヴィッツスタディツアーは延期とする
- ・ 9月 大学生協ヨーロッパスタディツアー
- ・ 10月 Kokoro 主催ドイツスタディツアー

3-2-3. ホロコースト国際デー2021 の開催

国連制定の「ホロコースト国際デー」にあわせて、1月27日前後に上映会または講演会を開催する。

4. 人権・平和教育に関する普及啓発事業

4-1) Kokoro 通信の発行

平成31年度の事業報告を含めたKokoroの活動報告やホロコースト教育に関連するニュースを掲載した通信を7月に発行する。会員を中心に全国の教員などに配布する。

4-2) Kokoro メールマガジンの発行

Kokoroの活動報告やイベントの案内などを掲載したメールマガジンを発行する。5回予定。